

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 理事会議事録

日 時：平成 22 年 7 月 25 日(日) 午前 9 時～10 時 30 分

場 所：県民センター R709

出席理事：斎藤・片山・鈴木・日暮・松永・半田・木村・日置（欠席：川畑・小野）

出席監事：なし（欠席：薄井・宇田川）

出席顧問：なし（欠席：野村・鈴木）

冒頭、議長は日暮理事が、議事録作成係は日置理事がそれぞれ務める旨の確認がなされた後、議長の進行により議事が開始した。

<議 題>

1. 本年度の本部主催事業について

片山副会長より、本年度に予定している本部主催事業について、次の通り説明があった。

① 横浜市危機管理センターの見学会

7 月 22 日に磯子区防災ボランティアの 5 団体(計 40 名ほど)で横浜市危機管理センターを見学した。一度に 40～50 名までの参加が可能とのことであるが、見学日は平日の日中のみであり、予め市の都合を確かめる必要がある。

② 防災講演会

本講演会の講師は、片山副会長と青葉区副支部長の上野氏(NTT 勤務)の 2 人で考えている。それぞれ 1 時間ずつ講演を行った後、質疑応答としたい。本講演会については、土・日の開催でも OK。

協議の結果、上記①については、市と相談のうえ取りあえず 9 月の後半で予約を取ってみることとなった(片山副会長が担当)。また、上記②については、来年 3 月 13 日(日)に予定している支部長会の後に開催することで、県民センターの会議室(定員 60 名)を予約してみることとなった(半田理事が担当)。

2. 区役所局の無線設備、電波利用料について

斎藤会長より、本日は都合により欠席の小野理事(無線局免許担当)から、各支部長に対して、①各区役所局の無線機は毎年チェックして、その結果を担当理事まで報告すること、②各区役所局の電波利用料納付書は、開封せずに、そのまま市役所に転送すること、の 2 点について連絡、徹底してほしい旨の依頼を受けたので、支部

長会担当理事におかれては、本日この後に開催される支部長会でそのように報告していただきたいとの説明があった。

3. 会員の永年表彰について

半田理事より、当協力会においても会員の永年表彰のようなものがあったとしても良いのではないかと提案があり、協議の結果、永年表彰を行う場合には会則の変更も必要となることから、斎藤会長の提案に基づき、検討委員会を設置する方向で次回の理事会で検討することとなった。

4. その他

(1) 斎藤会長より、次の通り報告があった。

- ① 保土ヶ谷区役所局と栄区役所局用の電源の納入が遅れていたが、先日、納入が完了した。
- ② 九都県市合同防災訓練については、本年は泉区支部が担当、すでに2・3回打ち合わせを行った。ポスターも届いた。
- ③ 本年の防災フェアでは、昨年を引き続き、市役所局の運用を行うことで検討する。
- ④ 1200MHzレピータ2台(JP1YEJ)については、別紙1の通り、7月5日付で横浜市危機管理室宛に廃局の通知書を提出し、7月31日付で停波して廃局することとなった。

(2) 半田理事より、数名の支部長から、各支部に対する連絡をわざわざ広報担当を通してするのは非効率的との指摘があったので、本理事会で検討してほしいとの提案があり、協議の結果、理事会としては、各支部への連絡は支部長会担当理事から直接しても構わないとの意見となったので、その意見を本日この後に開催される支部長会に出すこととなった。

(3) 半田理事より、各支部の活動報告を当協力会ホームページに掲載してほしいとの提案があり、協議の結果、活動報告をPDFに変換した上で掲載することとなった。

以上